

ふれあい記録

実施日：令和5年5月18日（木）

当番者名：宮原宏至 小俣悦男

コース名：石老山

(通算回数 第186回)

天 候：快晴

参加者名：石井 公子、岩崎 宗郷、江口 正彦、小俣 悦男、神谷 順子、熊谷 信雄、田中 宏巳、鶴岡 重典、西村 寿文、船橋 エイ子、宮原 宏至、和田 龍子（12名）（五十音順）

ビジター：笠井 欣三、齋藤 國男、野口 和夫、林 洋、山奥 利光、小松 佐恵子（6名）（五十音順） 計18名（内、男性13名 女性5名）

交通：集合 JR中央本線 相模湖駅バス①番乗場 8時40分

往 路：金沢文庫駅 6:30 青砥行特急→6:47 横浜駅 6:51 南浦和行→6:54 東神奈川駅 6:59→7:57 八王子駅 8:13 大月行→8:33 相模湖駅 バス 相模湖駅 9:00→9:07 石老山入口

コース：石老山入口 9:25—10:00 顕鏡寺（白蓮の墓）10:30—11:53 石老山（昼食）12:30—大明神展望台 13:37—14:55 プレジャーフォレスト前 ⇒解散 歩程：約4時間 標高差約500m

復 路：相模湖駅行バス 15:23 相模湖駅 15:52（東京行）

みどころ：

「石老山」の名は顕鏡寺の山号からつけられた。石老山には巨大な奇岩怪石が。一見屏風と思われる屏風岩、岩上に馬の蹄の跡や寝た跡のある駒立岩、平面が鏡のような鏡岩、その昔、力自慢たちが力試しをしたと伝えられる力試し岩など。大いに目を楽しませてくれた。とは言え、登るに精いっぱいそれぞれでなくとする方も。石老山の頂上（702m）からは、富士山と大室山や焼山など丹沢の山々を見ることが出来た。また下りの大明神展望台からも高尾、相模湖が眺められ 急激な下りで神経をすり減らし、落ち込んでいた気分を大いに癒してくれた。

「白蓮の墓」本名宮崎燐子の墓がここ、顕鏡寺にある。白蓮は俳句や和歌の「号」。かつて、NHKの朝ドラでも描かれた明治から大正、昭和を生き抜いた華麗奔放な女性。旧華族柳原家の妾の子。大正天皇の生母の姪。大正天皇とは従妹の関係。生家の経済的な事情もあって、九州の炭鉱王の元へ人身売買のような形で嫁入りしたがそれに反発して嫁ぎ先を出奔、離婚。社会運動家・弁護士の宮崎龍介と結婚。社会を大いに騒がせた。大正三美人の一人と称され、他の二人は九条武子（教育者、歌人、後年に社会活動家）江木欣々（明治期の法律家江木衷の妻）

自然観察：

顕鏡寺にある蛇木杉の樹齢は400年以上といわれている。木の太さは6.3mあり、石老山中、最大の杉。杉の根の二本が地上に露出しており、その姿から蛇が横たわっているように見えるので蛇木杉と名づけられている。この二本の根を雄龍、雌龍といい、この龍がすぐ上にある鐘楼に登らんとする姿は見応えがあり神秘的である。登山中に、エビネ、ユキノシタ、マルバウツキ、オカタツナミソウ、マムシクサなど夏の花々が目を楽しませてくれた。

特記事項：

- ◆ 30℃を大幅に超える天気予報でしたので水分補給など暑さ対策に十分配慮をしました。木立の中の歩きが多かったこともあり暑さは思ったほどではなく、かつときおり吹く爽やかな風や木漏れ日に癒され、山歩きの醍醐味を甘受した。
- ◆ 「山が高くなっている」と、複数の方が自分たちの老いたことをさておいて口々にしていたのが印象的だった。7年前に、どんぐりメンバーと来たときは余力があったので、さらに近くの「嵐山」に登ったが、これは、さすがに厳しかったこととしてよみがえってくるのが当時の参加者の共通の記憶である。